

2023年技能五輪国際大会の日本・愛知への招致について

1. 国際大会の招致について

- 日本は、世界の若者が職業技能の技を競う「**技能五輪国際大会**」2023年（第47回）大会の開催地に立候補しました。技能への関心を高め、技能の水準を高め、ものづくり人材のすそ野を広げ、経済の活性化につなげます。
- 立候補国は**日本とフランス**。開催地は2019年8月、投票権を有する**69か国の投票により決定**されます。

2. これまでの主な取組

- 7月以降、海外に職員等を派遣し、海外技能競技大会で**計41か国の代表に接触**するとともに、個別訪問で**計8か国の代表に接触**して支持を要請。また、10月にはWSI総会で**上野政務官が立候補を表明し、50か国の代表に接触・支持要請**。

3. 愛知県開催の意義

(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピックと2025年大阪・関西万博をつなぎます

- 2023年は、世界が日本に注目する**五輪・万博の中間年**。日本の「技」が、世界の関心を更に惹き付けます。

(2) 愛知のものづくり力、産業観光施設、インフラを活かします

- 製造品出荷額40年連続日本一を誇る愛知県。伝統産業から最先端技術まで、幅広いものづくり産業が集積。
- 数多くの産業観光施設に世界の人々が触れ、日本・愛知のものづくりの過去・現在・未来を世界に発信。
- 会場予定地は、2019年8月末にオープンする**愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)**。中部国際空港（セントレア）直結の強みを最大限活用し、世界各国からの快適なアクセスを実現。

4. 大会テーマ、開催計画

- 大会テーマ「**技能がつなぐ、持続可能な未来**」
若者、経済・産業、社会の未来に、技能が果たす役割を世界に発信。
- 開催の期間：2023年11月15～18日
参加選手数：2,000人（56職種）
観客動員数：30万人以上

